

広報研修会

平成27年12月4日

読まれる

議会だよりを

目指して

西日本新聞社こどもふれあい本部の溝越明氏、洲之内順三氏を講師として招き「読まれる議会だよりをめざして」をテーマに研修会を行った。当市議会だよりは、ほとんどの記事を議員自らが原稿作成していることから、ほぼ全員が研修に参加した。

まず、議会広報紙がなかなか読んでもらえない理由として、議会のPR情報ばかりが載っており、読者の興味・関心をひく情報が少ないこと、読者が知りたがっている情報が載っていないことが挙げられた。

実際に筑後市議会だよりを見ていただき「一般



溝越氏からの適切なアドバイス（議場）

質問の記事は、議員の写真が載っていた方が市民はより親しみやすく、手に取ってもらえるのではないか」「本会議や委員会報告は、特に議論が集中した案件や市民の関心が高いテーマについて大きく取り上げるなど、ポイントを絞ることが重要である」「見出しは最重要」などのアドバイスをいただいた。

このことを踏まえ、もつと市民に親しみやすい議会だよりになるよう紙面改善について検討していく必要があると感じた。

傍聴席の声



◆ 低いことの討議がなかったのが残念。審議会によつては「各団体の長からなる」などの規定があり、その点を改善しないと女性参画率は上がらないので討議を深めてほしい。
(60代女性)

◆ 初めて議会を傍聴して大変勉強になった。するどい質問もあり、白熱した議会だった。また機会があれば傍聴したい。
(20代女性)

◆ 今回も、多くの市民のみなさんに傍聴いただき、ありがとうございます。また、貴重なご意見ありがとうございました。今後の議会運営の参考にさせていただきます。
次回も多くの方の傍聴をお待ちしています。